

稲作情報 No.5

水稻生育(ニカメイガ注意)・大麦適期収穫・大豆圃場準備

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

5月上旬から中旬は平年よりも高温・多日射であったことから、水稻の生育は平年並みからやや大きい傾向です。
ニカメイガの発生が平年より多く、高温の影響により平年よりも早くなる見込みです。
平野部の大麦の成熟が早い地域では、週末には大麦の成熟期を迎える見込みです。

[水稻]

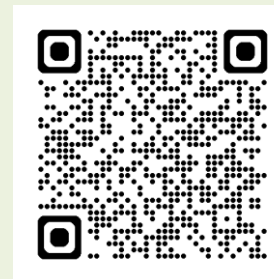
- ・水深2～3cm程度の浅水管理で分けつの発生を促しましょう。
- ・除草剤の効果が高めるため、除草剤散布後の7日間は落水・かけ流しをしないようにしましょう。
- ・ニカメイガの前年の発生が多かった地域では、防除効果の高い時期に防除を行いましょう。
(詳しくは、病虫害防除だよりNo387を参照ください)

[大麦]

- ・圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、収穫までに手取りを実施しましょう。
- ・穀粒水分を測定し、収穫が遅れることがないようにしましょう。

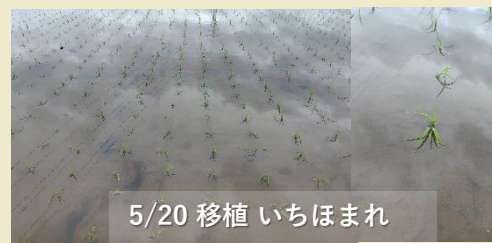
[大豆]

- ・麦収穫時にわらを細かく切って、大豆播種時にすき込みやすくしましょう。



病虫害防除だよりNo387

○農業試験場の生育(5月21日撮影) ※降雨により水位が高くなっている



【麦圃場内のカラスノエンドウに注意!】



圃場に発生したカラスノエンドウ
(成熟期時)

水稻

栽培管理等

項目	内容
浅水管理	・水深2～3cmの浅水管理で分けつを促進する。
湛水直播の茎数管理	・苗立数が多い圃場や茎数が増加する圃場は、茎数過剰になりやすいため、 中期深水管理 の導入を検討する。
雑草防除	・除草剤の効果を高めるため、除草剤散布後の7日間は落水・かけ流しをしない。 ・ 極端な深水の継続は徒長や分けつ抑制につながるため避ける * 除草剤 福井県農作物病虫害防除指針を参考に、最新の登録を確認する



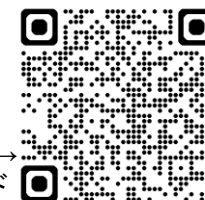
← 福井県農産物病虫害防除指針
HP QRコード

注意すべき病虫害

病虫害・雑草	対策
葉いもち	・いもち病に登録のある育苗箱施用殺菌剤や種子塗抹剤を施用していない圃場は、 予防剤を6月10日までに施用する 。 ・病斑を見つけたら、 治療効果のある薬剤を施用する 。 * 殺菌剤 福井県農作物病虫害防除指針を参考に、最新の登録を確認する
ニカメイチュウ (ニカメイガ)	発生状況 ・越冬世代成虫の発生量は、 平年より多い見込み である。特に、福井平野の北部は、毎年発生量が多いため注意する。 ・発生盛期は、 平年より早く、5月4半旬となる見込み である。 ・ニカメイガに登録のある育苗箱施用殺虫剤や種子塗抹処理殺虫剤を施用していない圃場は防除する。 * 殺虫剤 福井県農作物病虫害防除指針を参考に、最新の登録を確認する
スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)	・移植直後～移植3週間後の水深を4cm以下に保つ。 ・移植直後と移植4週間後に誘殺効果のある農薬を散布する。 ・貝を踏み潰すなどして防除する。 ・水路の側面などに産卵されたピンク色の卵塊は、水中にそぎ落して殺卵する。 ・ 卵塊を見つけた場合近くのJAもしくは農林総合事務所にお知らせください * 参考資料 スクミリンゴガイの被害防止対策(農水省)



ニカメイガ

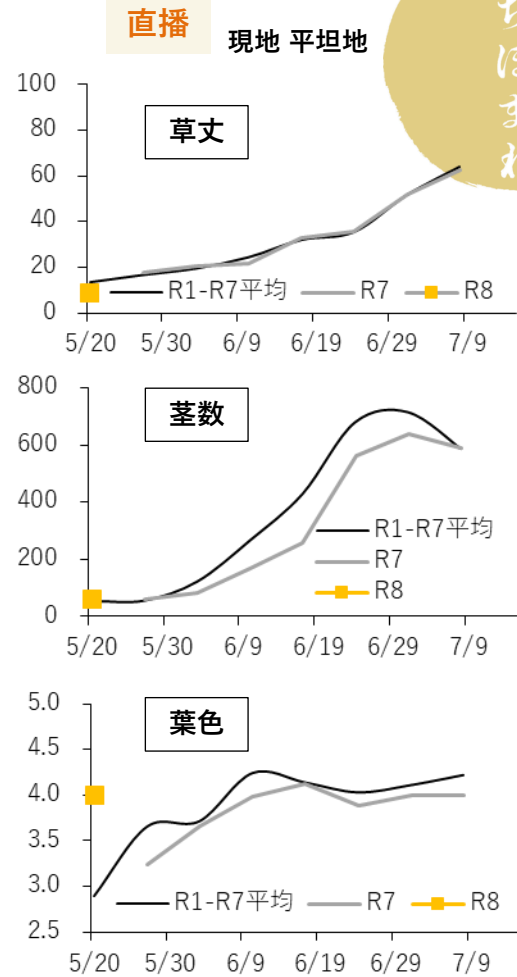
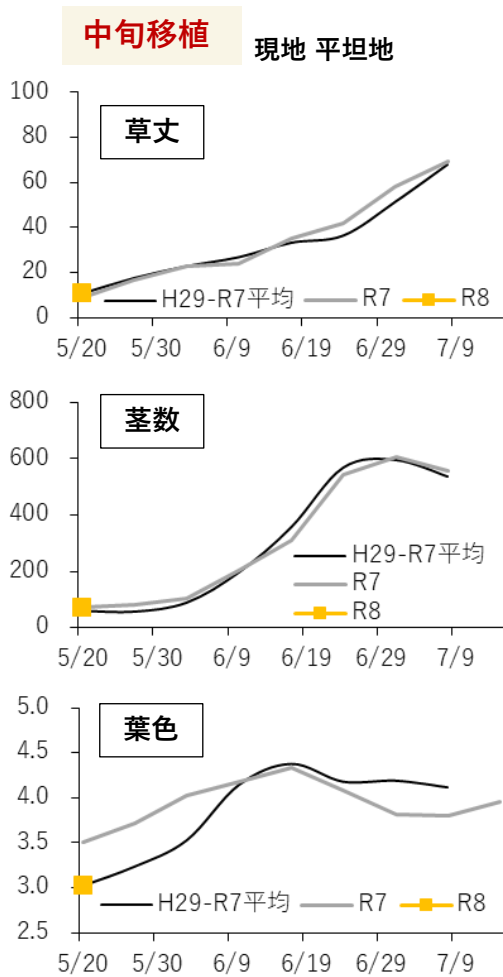
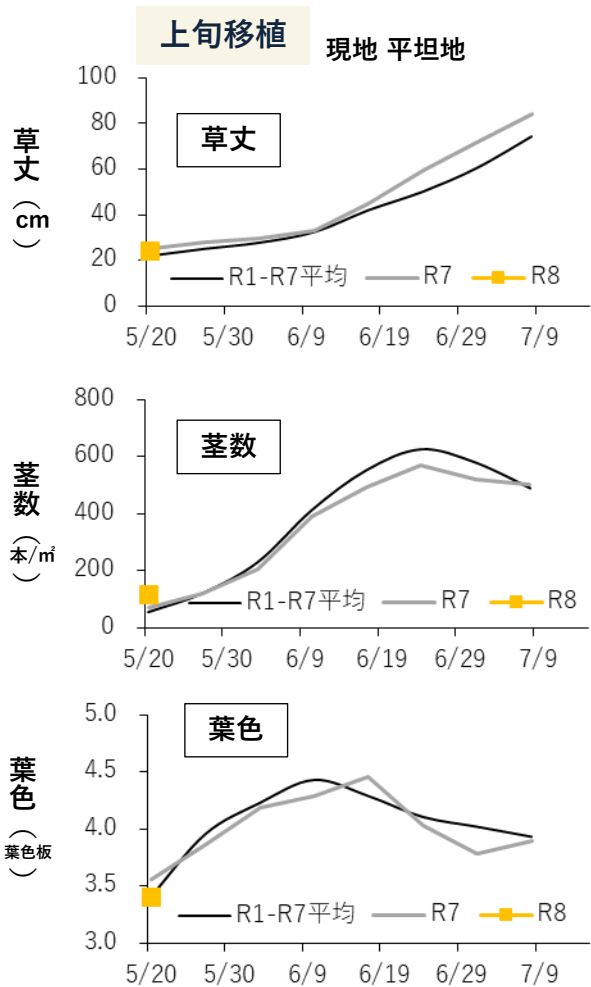


農水省HP→
QRコード



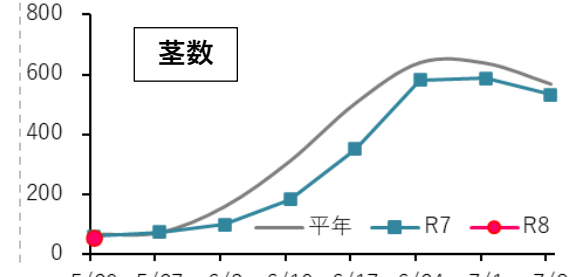
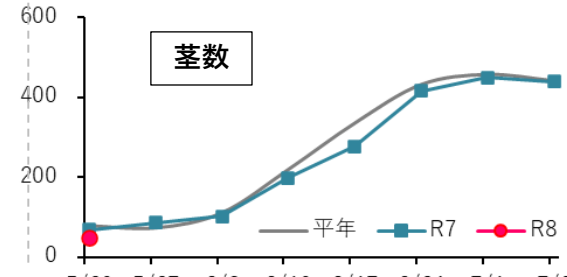
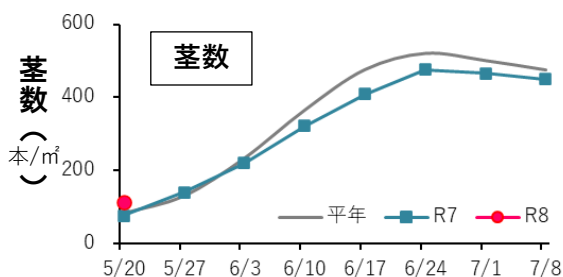
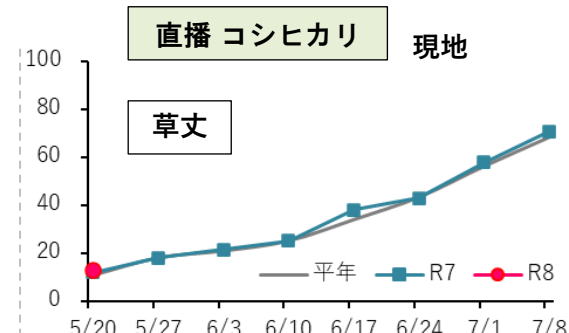
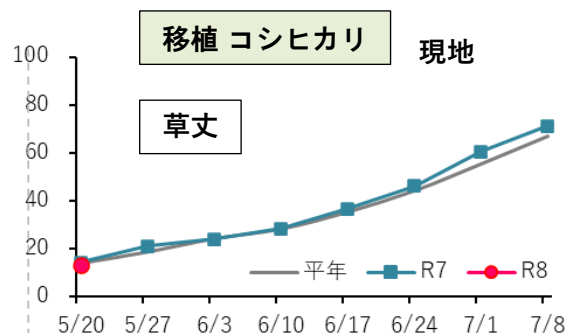
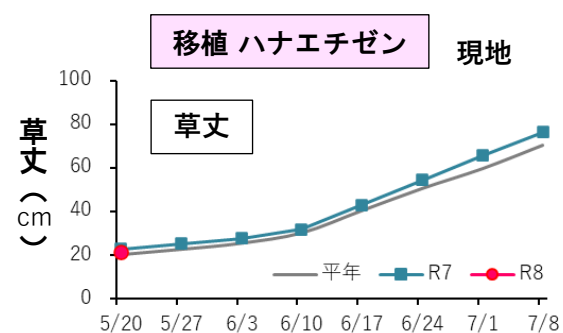
スクミリンゴガイの卵塊

いちほまれ生育状況（令和8年5月20日調査）



	農業試験場		現地 平坦地			現地 中山間地	
	上旬移植 4/30	中旬移植 5/20	上旬移植 5/4	中旬移植 5/18	直播 5/7	中旬移植	直播 5/13
栽培方法 時期	上旬移植 4/30	中旬移植 5/20	上旬移植 5/4	中旬移植 5/18	直播 5/7	中旬移植	直播 5/13
地点数	1	1	4	9	7	2	1
草丈 cm	24.2	-	24.3	10.8	9.0	-	-
茎数 本/mi	130	-	116	74	60	-	-
葉色 葉色板	3.6	-	3.4	3.0	4.0	-	-


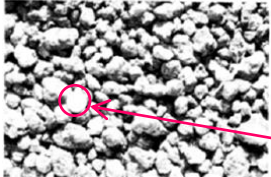
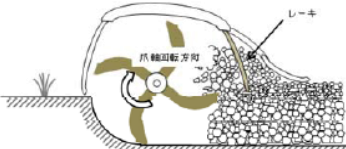
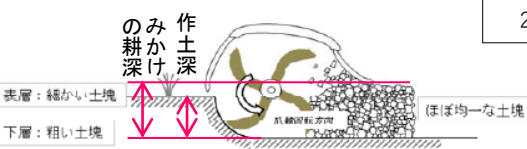
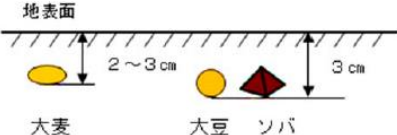
ハナエチゼン・コシヒカリ・あきさかり 生育状況（令和8年5月20日調査）



品種	ハナエチゼン			コシヒカリ					あきさかり				
	調査場所	農業試験場	JA坂井農場	現地	農業試験場	JA坂井農場		現地（慣行栽培）		農業試験場	JA坂井農場	現地	
栽培方法 移植・播種時期	移植 4/30	移植 4/30	移植 4/27	移植 5/20	移植	直播	移植 5/14	直播 5/2	移植 4/30	移植 5/20	移植	移植 5/16	
調査地点数	1	1	8	1	1	1	15	4	1	1	1	3	
草丈 cm	本年	21.8	23.1	21.3	-	-	-	13.2	13.0	21.6	-	-	13.4
	平年	-	21.2	20.2	-	13.7	11.2	14.2	10.7	-	-	10.4	14.9
茎数 本/m²	本年	138.3	120	114	-	-	-	49	57	124.8	-	-	49
	平年	-	78.9	82.4	-	52.6	71.8	77.6	66.2	-	-	49.6	62.2
葉齢 枚	本年	5.5	7.0	5.5	-	-	-	2.6	2.1	5.3	-	-	4.0
	平年	-	4.8	5.0	-	2.8	2.0	3.2	1.8	-	-	2.7	3.7
葉色 葉色板	本年	3.9	4.0	4.0	-	-	-	3.1	4.0	3.9	-	-	3.9
	平年	-	4.5	4.0	-	3.4	3.2	3.3	3.2	-	-	3.1	3.6

データなしは - と記載。移植直後の調査地点は、調査を実施していない場合がある

大豆

作業	注意点																		
排水対策 麦稈の鋤き込み	<ul style="list-style-type: none"> ・大麦作の明渠や補助暗渠を手直して利用する。 ・麦収穫時にコンバインカッターの刃幅を最短にセットし、麦稈を鋤き込みやすくする。 																		
土壌改良	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆の最適pHは6.0～6.5だが、本県の水田土壌はpH6.0以下が多い。 ・土壌pHを確認後、右表を参考に炭酸カルシウムや苦土石灰などを施用する。 麦豆一番、ケイカル、炭カル、苦土石灰はアルカリ分が約50% ・リン酸も大豆の栽培に欠かせない。 標準施肥量はようりん で40kg/10a <div style="text-align: right;"> <p>○アルカリ分50%の資材でpHを1程度上げる施用量</p> <table border="1" data-bbox="1404 258 1978 439"> <thead> <tr> <th>土性</th> <th>CEC(me/100g)</th> <th>10a当たり施用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>強粘質</td> <td>20以上</td> <td>250kg</td> </tr> <tr> <td>粘質～壤質</td> <td>10～20</td> <td>150kg</td> </tr> <tr> <td>壤質～砂質</td> <td>10以下</td> <td>100kg</td> </tr> </tbody> </table> </div>	土性	CEC(me/100g)	10a当たり施用量	強粘質	20以上	250kg	粘質～壤質	10～20	150kg	壤質～砂質	10以下	100kg						
土性	CEC(me/100g)	10a当たり施用量																	
強粘質	20以上	250kg																	
粘質～壤質	10～20	150kg																	
壤質～砂質	10以下	100kg																	
播種量の調整	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の苗立数を確保する。 里のほほえみ 16本/m² (条間75cmで1mに12本) ・品種や年次によって粒大や百粒重が異なるため、播種量を調整する。 <div style="text-align: right;"> <p><播種機の播種量(粒数)の事前調整方法(例)></p> <p>目標苗立本数 16本/m² ↓ 苗立率 80% 播種粒数 20粒/m² ↓ 条間 75cm 播種粒数 15粒/m ↓ 接地輪スリップ率 10% 播種機播種粒数 16.7粒/m ↓ 接地輪 5回転 播種機播種粒数 91.9粒/5回転</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>播種機の接地輪を5回転させた時の落下粒数が、92粒になるように、調整する。</p> </div>  <p>印 接地輪 直径：35cm 0.35×3.14×5回転=5.50m</p> </div>																		
種子予措	<ul style="list-style-type: none"> ・紫斑病やフタスジヒメハムシを予防するため種子塗抹剤を施用する。 農産物病虫害防除指針を参照 																		
耕耘	<ul style="list-style-type: none"> ・作土深 15cm以上、砕土率 60%以上を目標に耕耘する。 ・PTOの回転数を下げず、速度を落として耕耘する。 ・逆転ロータリは、表層が細かく下層が粗くなるため砕土率が高まる。 ・土壌水分 20～40%のときに作業する <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>砕土率60% 表層5cm以内の土塊のうち 直径2cm(1円硬貨)以下の割合が60%</p> <p>1円硬貨</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p><逆転ロータリによる耕うん></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><正転ロータリによる耕うん></p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>○手の感触による水分の目安</p> <table border="1" data-bbox="1239 839 1984 1129"> <thead> <tr> <th>含水比の区分</th> <th>手で握った時の状態</th> <th>耕耘・砕土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60%以上</td> <td>土を手で握ると水が垂れてくる</td> <td>不可</td> </tr> <tr> <td>50～60%</td> <td>土を手で握ると幾分水がにじんでくる</td> <td>極難</td> </tr> <tr> <td>40～50%</td> <td>土を手で握ると土が連なる</td> <td>やや難</td> </tr> <tr> <td>20～40%</td> <td>土を手で握って連なってこない</td> <td>易</td> </tr> <tr> <td>20%以下</td> <td>土を手では握れない(硬い)</td> <td>やや難</td> </tr> </tbody> </table> </div>	含水比の区分	手で握った時の状態	耕耘・砕土	60%以上	土を手で握ると水が垂れてくる	不可	50～60%	土を手で握ると幾分水がにじんでくる	極難	40～50%	土を手で握ると土が連なる	やや難	20～40%	土を手で握って連なってこない	易	20%以下	土を手では握れない(硬い)	やや難
含水比の区分	手で握った時の状態	耕耘・砕土																	
60%以上	土を手で握ると水が垂れてくる	不可																	
50～60%	土を手で握ると幾分水がにじんでくる	極難																	
40～50%	土を手で握ると土が連なる	やや難																	
20～40%	土を手で握って連なってこない	易																	
20%以下	土を手では握れない(硬い)	やや難																	
播種	<ul style="list-style-type: none"> ・播種深度は3cm程度を目標とする。 ・耕耘・畝立・施肥・播種を一工程で行う耕耘同時畝立播種は出芽・苗立ちが安定する。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>地表面 2～3cm 3cm 大麦 大豆 ソバ</p> </div>																		